

# 海外・現場最前線 からのお便り

海外で活躍する林野庁職員の近況を  
シリーズで報告します

## 「自然豊かなITの街で」



 アメリカ

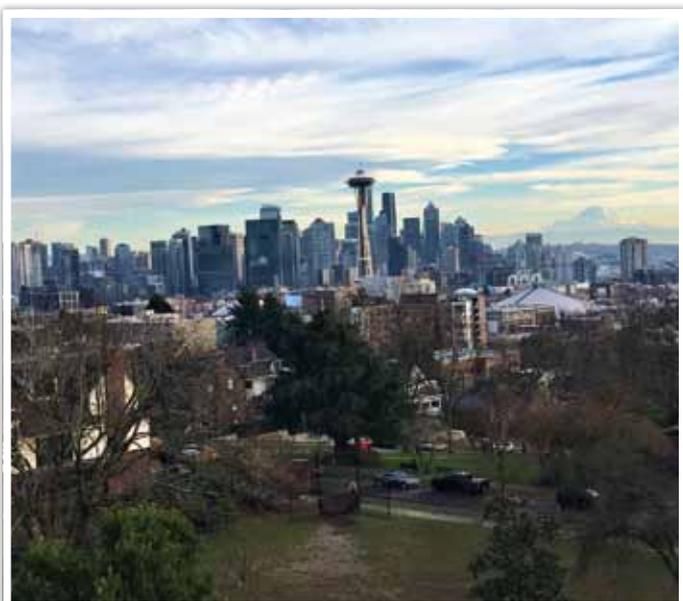
在シアトル日本国総領事館  
石川貴之 領事



シアトル、といえば何を思い浮かべるでしょうか。イチロー選手など数々の日本人が活躍してきた野球チームのシアトルマリナーズ、自宅と職場以外の第三の居場所を定着させたコーヒーチェーのスターバックス、オンラインショッピングからクラウドサービスまで提供するアマゾンなどは有名でしょう(写真1)。WordやExcel・Windows OSなどでお馴染みのマイクロソフトも本社をシアトル都市圏に構えており、航空機を製造しているボーイングも当地で創業し現在も工場があります。また、アラスカ漁業・水産業の拠点となっているほか、シアトルから東にカスケード山脈を越えた地域では農業・食品加工業が盛んであり、フライドポテト用加工冷凍ポテトなどが製造され、それぞれ日本に輸出されています。そして、木材に関しても日本との関係は深く、長い歴史を持っています。

シアトルのあるワシントン州の面積は日本の国土の約半分、森林面積はその半分を占め、雨量の多い州西部に広大な森林が広がり、歴史的に林業が地域経済を支えてきました。シアトル市に本社を置くウェアハウザー社は、北米最大の森林所有者・林業事業者かつ木材加工業者で、同社は1923年の関東大震災の復興に係る木材を輸出したことから日本と強い関係があり、1963年には東京事務所を開設し、北米の強度に優れたベイマツ(ダグラスファー)を大量に日本へ輸出してきました(写真2)。現在でも、日本の住宅に当地の木材が使われています。

シアトルは、最近こそIT企業などの台頭により



3 シアトル市中心街とレーニア山

1 2018年シアトルマリナーズ  
復帰時のイチロー選手



2 日本向け木材輸送船



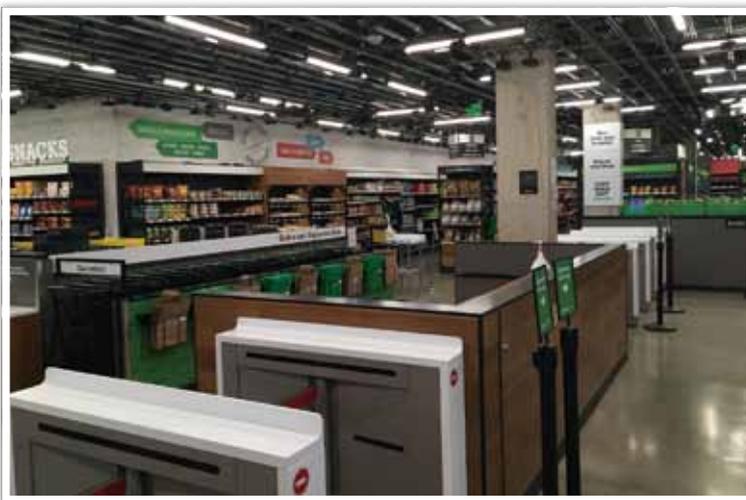
5 州立公園内の針葉樹林



4 木材の電柱

市内は都市化が進んでいますが、元々は木材の町でした。19世紀中頃にネイティブアメリカンの暮らすこの地域に開拓者が入植し、19世紀後半にアラスカのゴールドラッシュで宿場町として栄えた後は、豊富な森林資源を背景に木材産業が栄え、日本からの移民でも木材加工所で働く人が多くいました。現在でも、緑と湖・海に囲まれたシアトルは「エメラルド・シティ」と呼ばれ、アウトドアも盛んです(写真3)。また、市内では木材がいたるところで使われており、電柱には未だに木材が使われています(写真4)。街路樹や自然公園も多く、少し足を伸ばせば壮麗な州立・国立公園がたくさんあります(写真5、6)。中心街の渋滞の悪化、物価が日本に比べ非常に高いことを除けば、暮らしやすい街です。

シアトル総領事館は、在米日本国大使館の出先機関として、米国北西部、シアトルのあるワシントン州、モンタナ州、アイダホ州北部を所管しています。私は経済・広報文化班の一員として、日本食・日本産食材の輸出拡大、日系企業支援、農林水産業案件、州政府と連携した当地アースタートアップ企業と日本企業のマッチング行事に取り組みほか、日本文化紹介行事の実施、姉妹都市交流の支援、各種広報活動など幅広い業務に携わっています。これらの業務を通じて、将来の明確なビジョンを持った経営者達、レジのないストア「Amazon Go」代表されるようなAIを使った最先端の技術に触れる機会も多く、日々、刺激を受け、学びながら仕事をしています(写真7)。



7 レジのないスーパー、Amazon Go Grocery



6 ノースカスケード国立公園